

PROGRAM NOTE

1998

近藤譲：ノヴィタス・ムンディ

オルガン独奏のための

Novitas Mundi

for Organ

タイトルの「ノヴィタス・ムンディ」は、ラテン語で「世界の新鮮さ」の意。このオルガン独奏のための作品は、1998年に、松本市の委嘱で、保田紀子のために作曲され、同年の同氏のリサイタルで初演された。

この作品は、様々な和音の並置が速いテンポで奏される主部と、静的性格の短いコーダから成っている。主部の和音は、常に、基音の第10倍音に相当する音（'terz'と呼ばれる音栓から齎らされる）を伴って奏され、その響きは、速いテンポと相俟って、万華鏡のように絶えず変化する色彩の場を産み出す。

近藤譲

初演：1998年7月（長野県 松本市）

初演者：保田紀子(オルガン)

委嘱：松本市

出版：University of York Music Press (UK)

録音：ALCD-69

演奏時間：7分